

がん予防出前講座に行ってきました！！

がんによる死亡者数は年々増加している中において、早期発見・早期治療に重要な役割を果たす、がん検診の受診率は低迷を続けています。このような中で、中学生の段階から、がんに関する正しい知識を習得し、がんを予防するための健康的な生活習慣の習得や定期的な検診の重要性を認識してもらうことともに家族の健康の大切さを考えてもらい、検診の受診率向上につなげ、今後のがん死亡率の減少を目指すことを目的にがん予防出前講座を企画しました。

昨年9月に、高梁市教育委員会に提案をさせていただき、今年度、高梁市の各中学校7校で実施することになりました。

第1回 出前講座報告

平成27年6月1日(木)
日直 小川
高梁市立高梁中学校
1時間目〜4時間目
3年A組〜D組 113名
「がんと検診のおはなし」
臨床検査技師、細胞検査士として
毎日がんの検査をしている財団の
職員による講座。日本対がん協会
が作成したアニメDVD
「がんちゃん」の冒険の上映と
DVDの内容に沿っての講話



講座前と講座後にアンケート調査を実施しました。

Q. がんは予防できると思いますか？

講座前 「思う」と「少し思う」を合せて 70%
講座後 「思う」と「少し思う」を合せて 98%

Q. がんは治ると思いますか？

「思う」と「少し思う」を合せて 54%
「思う」と「少し思う」を合せて 95%

また、「家族や周りの人に検診を受けることをすすめようと思いますか」の問いには、82%が「思う、少し思う」と回答し、「将来自分はがん検診を受けようと思いますか」の問いには、91%が、「思う、少し思う」と回答してくれ、がん検診の重要性を理解してくれていました。

生徒さんの意見

「がんにはなりたくなし、家族にもなってほしくないので
がん検診を受けることをすすめたいと思いました」
「がんは、はやめに見つければなおる病気だと知ったので
がん検診は定期的に受けようと思った。」



がんは、健康的な生活習慣の実践による予防とがん検診の受診による早期発見・早期治療により治すことができる病気という事を理解してもらうことが出来ました。

引き続き、がん予防出前講座を行い、多くの中学生にがん検診の重要性を広めていきたいと思えます。次回は、7月9日に高梁東中と有漢中で出前講座を実施します。